

こんにちは
日本共産党
大分市議団
です

2016年2月5日

870-8504
大分市荷揚町2-31
市議会日本共産党控室
TEL 537-5695
FAX 537-5791
http://www.jcp-
oitasigidan.com
E-mail: occ-jcp
@oct-net.ne.jp

鉛製水道管、布設替え積極的に取り組む 使用家庭への周知は早急に実施

厚生労働省が指導

厚生労働省は、「鉛製給水管の適切な対策について」、平成19年12月21日、水道事業者あてに通知を出しています。そのなかで、鉛菅の水道水質基準について、毒性、蓄積性を考慮し、水質基準の省令が改正・強化されたことが記されています。対策として、鉛製給水管使用者への広報活動、鉛製給水管の布設替えの促

進などが示されています。

17%が鉛製給水管

市の配水管・本管には鉛製の管はありませんが、2014年（平成26年）度で、29017戸、給水戸数の17・6%が鉛製給水管のままです。鉛製給水管の布設替えや使用している家庭への連絡を求めました。水道局長は、「使い始めの水は飲用以外の用途に。鉛菅使用の家庭への個別周知は早急にします。布設替えは積極的に取り組む」と答弁。

**就学援助
認定基準引上げを**

大分市の就学援助の認定基準は、厚生労働省の定める最低生活費・生活保護基準の1・25倍とされています。生活保護基準が引き下げられる児童・生徒に影響が出ないように、認定基準の引き上げを求めました。教育部長は「従前の基準で認定しており、保護基準の改定



による影響が生じないようにしていく」と答弁しました。



給付型奨学金の 周知・拡充を

奨学金を借りる学生は、現在は53%と急増しています。非課税世帯だけが、高校生等奨学給付金が、昨年度から実施され、大分県では1840人が給付を受けています。制度の周知徹底、対象を広げること、現行の市貸与奨学金の見直しや給付奨学金の拡充を求めました。

【1月】

ひろつく
広次忠彦
通信 235
TEL 568-8833

- ◎ 1日、核兵器廃絶新春署名行動。
- ◎ 3日、敷戸校区新年互礼会。5日、穂田地区新年互礼会。
- ◎ 4日、戦争法廃止市民の会・街頭宣伝署名行動。
- ◎ 5日、市場初競り。
- ◎ 9日、敷戸校区フェス・どんと焼き。
- ◎ 10日、消防出初式。新成人集会。
- ◎ 13・25日、市議会・若年層との意見交換（緑丘、豊府）。
- ◎ 20日、日出生台各界連・県申し入れ。
- ◎ 17日、大分民商會館落成式・つどい。
- ◎ 23日、NANBUせせらぎスクール。
- ◎ 24日、議員団・市政こんだん会、県革新懇講演会。
- ◎ 27日、夢ひこうせん相談日。